

平成30年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立糀谷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業規律を確立することにより、授業を集中して受けることができる生徒が増えたので、昨年度に比べ教科全体の達成率は、3年生は24, 8ポイント上昇した。2年生は8, 0ポイント下がった。

(2) 課題

① 関心・意欲・態度

目標値に対して1年生は5, 4ポイント、2年生は4, 4ポイント、3年生は3, 5ポイント低い。授業の中で興味関心を養う方法について考察し、実践することが課題である。

② 思考・表現

目標値に対して1年生は3, 6ポイント、2年生は1, 9ポイント、3年生は4, 5ポイント低い。実験の結果を分析しながら説明をするなど、表現力を向上させることが課題である。

③ 観察・技能

目標値に対して1年生は1, 7ポイント、2年生は8, 5ポイント、3年生は1, 5ポイント低い。実験器具の名称や操作の仕方など、活用する力を向上させることが課題である。

④ 知識・理解

目標値に対して1年生は3, 2ポイント、2年生は9, 2ポイント、3年生は2, 8ポイント低い。授業の初めに前時の復習を必ず行うなど、知識を定着させるための工夫が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	平成30年度結果	平成29年度結果	平成28年度結果
第1学年	4つの観点がすべて目標値を下回っている。観察・技能の観点は2ポイント以内だった。		
第2学年	4つの観点がすべて目標値を下回っている。観察・技能の観点は2ポイント以内だった。	4つの観点が全て目標値を下回っている。観察・技能の観点は1ポイント以内だった。 (第1学年時)	
第3学年	4つの観点全てが目標値を下回っている。技能は2ポイント以内だった。全体として24. 8ポイント上昇した	4つの観点が全て目標値を下回っている。知識・理解が-18ポイントと大きく下回った。 (第2学年時)	4つの観点全て目標値を大きく下回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1年生は約5ポイント目標値を下回っている。	1年生は約4ポイント目標値を下回っている。	1年生は約2ポイント目標値を下回っている。	1年生は約4ポイント目標値を下回っている。

② 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
4, 4ポイント目標値を下回っている。前年度の校内平均値よりも6, 9ポイント上がっている。	1, 9ポイント目標値を下回っている。前年度の校内平均値よりも7, 7ポイント上がっている。	8, 5ポイント目標値を下回っている。前年度の校内平均値よりも0, 4ポイント上がっている。	9, 2ポイント目標値を下回っている。前年度の校内平均値よりも8, 8ポイント上がっている。

③ 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
3, 5ポイント目標値より下回っているが、前年度の校内平均値よりも0, 7ポイント低い。	4, 5ポイント目標値よりも下回っている。前年度校内平均よりも3, 7ポイント低い。	1, 5ポイント目標値よりも下回っている。前年度校内平均よりも6, 7ポイント高い。	2, 8ポイント目標値よりも下回っている。前年度校内平均よりも2, 5ポイント低い。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・ICTを使った分かりやすい授業を行い、分かる喜びを実感させることで意欲を高める。	・実験時の考察結果を班ごとにまとめて発表し、自らの意見を表現できるようにする。	・基礎・基本的な技能を習得するため、各実験相互の関連に留意し、同じ器具や実験操作を多く取り入れる。	・基礎的、基本的な知識が確実に定着するよう、出題の方法や実施の頻度などを工夫し、効果的に小テスト等を行っていく。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
理科に対する苦手意識を持っている生徒が非常に多い。実験をより多く行うことで興味関心を引き出し高める。	目標値から大幅に下回っている。実験や活動を通して、予想、まとめの作成、発表を通して苦手を払拭する。	実験を数多く行い、実験器具の使い方を身につけさせる。また、実験計画を作成する作業を通して実験の流れや、注意点を把握させる。	ただの暗記に頼ることなく、実験やグループワークを通して基礎事項を身につけさせる。小テストを計画的に行い、基礎事項の定着を図る。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
理科の実験に興味・関心をもっている生徒は多い。できるだけ実験の中で学ばせるように計画を立てていきたい。	授業の中で自分の考えをもたせ、それを発表する場を設けていきたい。また、実験結果を文章でまとめる指導をしていく。	技能は他の3観点到比べて高い値であった。事前に実験の予習を行わせたり、実験の説明をより丁寧に行ったりすることで更に向上させていきたい。	復習する時間を十分に確保することができた。今後も繰り返し復習をしていくことが大切である。